



平成28年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月8日 東

上場会社名 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 上場取引所
 コード番号 3658 URL <http://corp.ebookjapan.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 斉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 礒江 英子 (TEL) 03 (3518) 9544
 四半期報告書提出予定日 平成27年9月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第2四半期の連結業績(平成27年2月1日～平成27年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第2四半期	2,944	24.5	△75	—	△76	—	△76	—
27年1月期第2四半期	2,366	—	212	—	213	—	126	—

(注) 包括利益 28年1月期第2四半期 △74百万円(—%) 27年1月期第2四半期 126百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第2四半期	△15.23	—
27年1月期第2四半期	27.62	26.74

(注) 1 平成28年1月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年1月期第2四半期	4,521	2,838	60.8
27年1月期	3,604	2,162	59.3

(参考) 自己資本 28年1月期第2四半期 2,750百万円 27年1月期 2,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年1月期	—	0.00			
28年1月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	36.5	△200	—	△200	—	△128	—	△27.85
	～7,500	～46.2	～0	—	～0	—	～0	—	～0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) Find Japan株式会社、除外 1社(社名) 株式会社ブークス

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年1月期2Q	5,344,800株	27年1月期	4,810,400株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年1月期2Q	200株	27年1月期	200,000株
----------	------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年1月期2Q	4,999,514株	27年1月期2Q	4,591,743株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は、平成27年4月23日に第三者割当による新株発行を行っております。期中平均株式数につきましては、増加株式数を反映させて算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成27年9月10日に機関投資家及びアナリスト向けの、平成27年9月13日に個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

第1四半期連結会計期間において、Find Japan株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間より重要性が増したフォーリー株式会社及び株式会社バズグラフを連結の範囲に含めております。連結の範囲の変更に伴う当該子会社の非連結期間の損益は、利益剰余金の増減としております。

さらに、従来、連結子会社のうち決算日が2月28日であった株式会社トキオ・ゲッツについては、連結業績のより適時な開示を図るため、当連結会計年度より決算日を1月31日に変更しております。決算期変更に伴う当該子会社の平成26年12月1日から平成27年1月31日の2ヶ月の損益は、利益剰余金の増減としております。

加えて、当第2四半期連結会計期間において、株式取得及び株式交換により子会社化した株式会社ブックス及び第三者割当増資の引き受けにより子会社化したマグネット株式会社並びに新規設立により上海漫客网络科技有限公司を連結の範囲に含めております。

なお、株式会社ブックスについては、決算日である平成27年5月31日、マグネット株式会社については、平成27年6月30日をみなし取得日とし、第2四半期連結決算日との差異は3ヶ月を超えないため、当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調が続いております。

このような状況のもと、2014年度の国内の電子書籍市場規模は1,266億円(前年比35.3%増)、電子雑誌市場と合わせると1,411億円であったと推測されています。そして、2019年度には2,890億円程度に拡大すると予想されています。また、電子書籍の有料ユーザーは未だ13.5%程度であり、今後も堅調な市場拡大が見込まれるとの調査結果が掲載されております。(出典：平成27年7月株式会社インプレス「電子書籍ビジネス調査報告書2015」)

このような事業環境のもと、世界の主要言語圏に日本マンガを電子で届け、日本発の電子書籍グローバル売上No.1を達成するとの中期計画に基づいて、新規事業とそれらを推進するシステム、組織及び人への積極的な投資を推進した結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,944,959千円(前年同期比24.5%増)、営業損失75,240千円(前年同期は営業利益212,972千円)、経常損失76,294千円(前年同期は経常利益213,195千円)となり、四半期純損失は76,119千円(前年同期は四半期純利益126,835千円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結累計期間より、事業セグメントの名称を「プロモーション・その他事業」から「クロスメディア事業」へ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間ではセグメント情報を作成しておりませんので、前年同四半期比較は行っておりません。

①電子書籍事業

a. 電子書籍配信

当第2四半期連結累計期間は、引き続き一般書籍、雑誌などを中心に冊数が拡大し、累計で38万冊を超える取り扱いとなり、平成27年7月末時点のラインナップは385,680冊(内訳：男性マンガ66,490冊、女性マンガ66,430冊、総合図書233,780冊、その他18,980冊)となりました。

当第2四半期連結累計期間は、『ドラえもん』や著名作品の続巻リリース、戦後の昭和に一大ブームを巻き起こした絵物語『少年ケニヤ』の電子書籍化など、著名作品のリリースが相次ぎました。また、新規会員の獲得に向け、各種タブレット端末へビューアのプリインストールや、イベントなどを通じてeBook図書券を積極的に頒布しました。また、ポイントの大型増量キャンペーンを実施し、売上を押し上げました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,468,242千円となりました。

b. 電子書籍提供

会員基盤を多く有するパートナーへの電子書籍の提供やキャンペーンにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は、143,990千円となりました。

②クロスメディア事業

クロスメディア事業には、スマートフォンアプリを中心とした知育コンテンツをモバイル端末向けに配信するコンテンツ売上のほか、人気マンガコンテンツのキャラクターを用いたタイアップ・プロモーション、パートナーサイトへのウェブコンテンツの提供、そして中国向けのプロモーション事業に関する売上が計上されており、当第2四半期連結累計期間の売上高は、332,726千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、4,521,012千円（前連結会計年度末比916,861千円増）となりました。

総資産の内訳は、流動資産が3,356,534千円（同256,057千円増）、固定資産が1,164,478千円（同660,804千円増）であります。流動資産増加の主たる要因は、子会社の取得などにより受取手形及び売掛金が241,308千円増加したことによるものです。固定資産増加の主たる要因は、子会社の超過収益力によるのれんが345,542千円、及び業務システム等の構築により無形固定資産その他が232,232千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、1,682,039千円（同240,127千円増）となりました。主たる要因は、子会社の取得などによる買掛金が198,322千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,838,973千円（同676,733千円増）となりました。主たる要因は、第三者割当増資により資本金が249,832千円、資本剰余金が249,832千円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ49,270千円増加の2,378,677千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は1,634千円（前年同四半期は230,019千円の獲得）となりました。この主な資金増加要因としては減価償却費58,448千円、たな卸資産の減少額38,711千円、売上債権の増減額35,368千円及びのれんの償却額15,053千円によるものであります。これに対して主な資金減少要因としては税金等調整前四半期純損失の計上76,294千円及び法人税等の支払額73,153千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は516,247千円（前年同四半期は1,877千円の使用）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出が256,575千円及び連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が173,103千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は493,985千円（前年同四半期は8,500千円の獲得）となりました。これは主に新株の発行による収入が499,664千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月期（平成27年2月1日～平成28年1月31日）通期の業績予想につきましては、平成27年3月12日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成27年9月8日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、Find Japan株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、Find Japan株式会社は、特定子会社に該当しております。

また、第1四半期連結会計期間より重要性が増したフォーリー株式会社及び株式会社バズグラフを連結の範囲に含めております。連結の範囲の変更に伴う当該子会社の非連結期間の損益は、利益剰余金の増減とし、現金及び現金同等物の増減については、連結キャッシュ・フロー計算書の「新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額」として表示しております。

さらに、当第2四半期連結会計期間において、株式取得及び株式交換により子会社化した株式会社ブークス及び第三者割当増資の引き受けにより子会社化したマグネット株式会社並びに新規設立により上海漫客网络科技有限公司を連結の範囲に含めております。このうち、株式会社ブークスは、特定子会社に該当しております。

なお、株式会社ブークスについては、決算日である平成27年5月31日、マグネット株式会社については、平成27年6月30日をみなし取得日とし、第2四半期連結決算日との差異は3ヶ月を超えないため、当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が2月28日であった株式会社トキオ・ゲッツについては、連結業績のより適時な開示を図るため、当連結会計年度より決算日を1月31日に変更しております。決算期変更に伴う当該子会社の平成26年12月1日から平成27年1月31日の2ヶ月の損益は、利益剰余金の増減とし、現金及び現金同等物の増減については、連結キャッシュ・フロー計算書の「連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額」として表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,429,542	2,478,832
受取手形及び売掛金	525,963	767,271
商品	880	682
仕掛品	38,213	5,554
貯蔵品	13	95
繰延税金資産	48,916	47,896
その他	56,947	57,476
貸倒引当金	—	△1,274
流動資産合計	3,100,476	3,356,534
固定資産		
有形固定資産	88,574	149,045
無形固定資産		
のれん	82,419	427,962
その他	204,290	436,522
無形固定資産合計	286,709	864,485
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,398	8,332
その他	123,991	142,614
投資その他の資産合計	128,389	150,947
固定資産合計	503,673	1,164,478
資産合計	3,604,150	4,521,012

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	854,745	1,053,067
短期借入金	12,000	—
1年内返済予定の長期借入金	34,657	29,338
未払法人税等	80,426	6,088
賞与引当金	6,338	5,219
ポイント引当金	85,735	95,522
その他	326,193	400,578
流動負債合計	1,400,095	1,589,815
固定負債		
長期借入金	38,601	72,940
資産除去債務	3,214	19,282
固定負債合計	41,815	92,223
負債合計	1,441,911	1,682,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	526,757	776,589
資本剰余金	537,768	910,198
利益剰余金	1,155,881	1,062,375
自己株式	△85,602	△207
株主資本合計	2,134,805	2,748,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	669	705
為替換算調整勘定	395	820
その他の包括利益累計額合計	1,065	1,525
新株予約権	18,320	22,864
少数株主持分	8,047	65,626
純資産合計	2,162,239	2,838,973
負債純資産合計	3,604,150	4,521,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
売上高	2,366,077	2,944,959
売上原価	1,315,750	1,667,962
売上総利益	1,050,326	1,276,996
販売費及び一般管理費	837,353	1,352,237
営業利益又は営業損失(△)	212,972	△75,240
営業外収益		
受取利息	32	141
不要書籍売却益	116	156
その他	73	216
営業外収益合計	222	515
営業外費用		
支払利息	—	892
為替差損	—	676
営業外費用合計	—	1,568
経常利益又は経常損失(△)	213,195	△76,294
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	213,195	△76,294
法人税、住民税及び事業税	113,532	2,275
法人税等調整額	△27,173	△2,879
法人税等合計	86,359	△604
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	126,835	△75,690
少数株主利益	—	428
四半期純利益又は四半期純損失(△)	126,835	△76,119

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	126,835	△75,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△312	35
為替換算調整勘定	—	684
その他の包括利益合計	△312	720
四半期包括利益	126,523	△74,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,523	△75,659
少数株主に係る四半期包括利益	—	688

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	213,195	△76,294
減価償却費	17,643	58,448
のれん償却額	—	15,053
株式報酬費用	5,776	4,543
受取利息	△32	△141
支払利息	—	892
売上債権の増減額(△は増加)	△75,556	35,368
たな卸資産の増減額(△は増加)	△383	38,711
仕入債務の増減額(△は減少)	89,643	3,212
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	2,045
ポイント引当金の増減額(△は減少)	63,169	6,792
その他の資産・負債の増減額	6,230	△13,093
小計	319,685	75,538
利息の支払額	—	△892
利息の受取額	32	141
法人税等の支払額	△89,698	△73,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,019	1,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,115	△100,155
定期預金の払戻による収入	50,095	100,135
有形固定資産の取得による支出	△10,515	△62,667
無形固定資産の取得による支出	△23,079	△256,575
投資有価証券の取得による支出	△7,450	△2,100
投資事業組合からの分配による収入	—	5,873
敷金の差入による支出	—	△39,247
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△173,103
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	39,187	14,614
その他	—	△3,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,877	△516,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△6,000
長期借入金の返済による支出	—	△19,316
株式の発行による収入	8,500	499,664
自己株式の取得による支出	—	△207
少数株主からの払込みによる収入	—	19,844
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,500	493,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	751
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	236,641	△19,876
現金及び現金同等物の期首残高	2,209,586	2,329,406
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	43,601
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	25,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,446,228	2,378,677

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

連結子会社のうち決算日が2月28日であった株式会社トキオ・ゲッツについては、連結業績のより適時な開示を図るため、第1四半期連結累計期間より決算日を1月31日に変更しております。さらに、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したフォーリー株式会社及び株式会社バズグラフを連結の範囲に含めております。この結果、期首の利益剰余金が17,386千円減少しております。

また、当社は、平成27年4月23日付で、クックパッド株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結累計期間において資本金が249,832千円、資本準備金が249,832千円増加しております。

さらに、平成27年5月8日付で、当社を株式交換親会社とし、株式会社ブークスを株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が122,598千円増加し、自己株式が85,602千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が776,589千円、資本剰余金が910,198千円、自己株式が207千円となっております。